

(別紙1)

## 事業報告書

事業名	①第31期レクリエーション・インストラクター養成講座 ②オンライン事業
趣旨・目的	①「健康づくりと生きる喜びづくり」を支援する 公益財団法人 日本レクリエーション協会公認 レクリエーション・インストラクターを養成することを目的とする。子どもから高齢者などあらゆる場面において、県民に多種多様なレクリエーション支援活動ができる人材を養成する。 ②新型コロナウイルス感染症の影響が長期化、未だ収束しない状況であり対面での事業や講習会、交流会の実施が難しいため、安心して参加可能なオンライン事業を計画・開催する。
事業実施の地域及び対象者	県民・近隣県民
事業内容	①公益財団法人日本レクリエーション協会公認資格レクリエーション・インストラクター養成カリキュラムに準じた理論と実技を含む合計60時間の講座。従来全対面式講座で開催していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対面講座を減らし、オンライン講座も導入にて実施。全講座を受講すると、レクリエーション・インストラクター資格取得に必要なカリキュラムが全て履修できる内容で、希望者は資格取得も可能。様々な場面で対象者を支援するためのレクリエーション財を幅広く体験するとともに、その指導（支援）技術を学ぶことができる。 ②レクリエーションの普及・レクリエーション有資格者のスキルアップを計るため、オンラインを活用した事業や講習会、交流会、勉強会等の開催にむけた打ち合わせ・検討会議を実施。
事業実施期日	①自 令和4年9月 至 令和5年2月 期間中毎月1回開催 全6回・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じて実施。 ②自 令和4年4月 至 令和5年3月
事業実施の果効	①講座を通してレクリエーションの認知度を広めレク・インストラクター資格へのつながりに寄与することができた。 福祉レクリエーションと生涯スポーツ及びニュースポーツなどの普及振興を図ることが出来た。 コロナ影響によりなかなか講習会等に参加出来なかった方々に大変喜んでいただくことが出来た。 ②長引くコロナ影響で対面での参加に不安があるとの声をいただき、非対面・オンラインでの講座や勉強会を開催出来るよう、計画した。次年度も継続出来るよう引き続き計画・検討する。
備考	

(別紙2)

## 収支精算書

①第31期レクリエーション・インストラクター養成講座②オンライン事業

## 【収入】

(単位：円)

項目	金額	説明
補助金交付金額	116,401	
自己資金	219,000	①+②+③+④
①参加料収入		
②会費等		
③寄附金等		
④その他	219,000	(公財)日本レクリエーション協会より受講人数に応じて一部補助
助成金等収入	0	①+②+③
①補助金収入		
②委託金収入		
③その他		
その他資金収入	0	
預り金	12,495	謝金源泉税
合計	347,896	

## 【支出】

項目	金額	説明(使途、積算根拠等)	領収書番号
報償費	122,495	講座講師スタッフ謝金 122,495	23 A-①～⑱ ㊦A-①～④
旅費・交通費	10,770	講師・スタッフ駐車場代(回数券) 10,770 交通費	6 B-①～⑥
消耗品費・材料費	77,374	新型コロナウイルス感染拡大防止対策備品 77,374 講座用備品	33 C-①～⑳ ㊦C-①
通信運搬費	65,332	郵便・配送料 65,332	26 D-①～⑱ ㊦D-①～⑧
賃借料及び使用料	53,480	会場使用料 53,480	6 E-①～⑥
保険料	3,420	事業イベント傷害保険料 3,420	1 F-①
雑費	15,025	振込手数料 2,530 謝金源泉税 12,495	29 G-①～㉔ ㊦G-①～⑤
合計	347,896	領収書枚数	124枚

## ■注意事項

- ・交付決定を受けた事業の収支について記入してください。
- ・精算書作成にあたって、貴団体が必要としない項目は削除してください。
- ・領収書の写しを添付してください。(原則、領収書は項目ごと、日付順に整理して添付してください)